

1・2年生の塾生のみなさんへ DSKだより 2012年2月号

暦の上では、立春を迎えましたが、まだまだ厳しい寒さが続いています。DSKでは、加湿器などで温湿度調整をして風邪対策をしていますが、生徒のみなさんも体調管理には十分気をつけてください。来月には学年末テストも控えていますので、体調を崩すことなく、春を迎えたいものです。

進級へ向けての準備期間である、2月・3月。夢や目標に向かって、人よりも一歩でも先に、走り出しましょう！ DSKパーソナルスクールは、皆さんが何事にも根気強く、諦めずに努力を続け、チャレンジする可能性を追求して欲しいと願っています。そして、保護者の皆さんと共に、彼らの無限の可能性を信じて、励まし続けたいと思います。

国公立大 個別試験 はこうして行われる！

センター試験後の1月23日からいよいよ国公立大の個別試験（2次試験）への出願が始まります。昨年は国公立合わせて504,193人の志願がありました。今回は、多くの受験生が挑戦する国公立大2次について案内します。

前期日程と後期日程の関係

国公立大では、募集人員を前期と後期に分けて募集します。前・中・後期でそれぞれ1校のみ出願できるので、2回（もしくは3回）の受験チャンスがあることになります。教科ごとの学力試験が主流の前期試験は来年2月25日から、総合問題や小論文、面接などが主流の後期は3月12日から実施の予定。
なお、前期試験に合格して入学手続きをした受験生は、後期、中期を受験しても合格できないことになっているので気をつけましょう。

2次試験科目の傾向

「外国語」は、センターの英語でリスニングが実施されるようになってから、2次でリスニングを課す大学は減少傾向にあるよう。「数学」は、文系では数Aが主体で、数Bでは数列・ベクトルがよく指定されます。理系は数Cまでで、数Bではやはり数列・ベクトル、数Cでは行列とその応用・式と曲線の指定が目立ちます。「国語」は国語総合・現代文を主体に古典を加える大学もあります。

私立大 個別試験 はこうして行われる！

近年、受験生数の減少などを背景に私立大の入試では多種多様な選抜方法が実施されています。名称だけではちょっと分かりにくい入試制度もあるので、ここではそれらの基本的な仕組みについて紹介します。

センター利用入試

個別試験を行わずセンターの得点だけで判定するケースが多いが、個別試験を課してセンターの成績と総合して判定する場合があります。同様に、センターと個別の両方を受験し、総合判定ではなくいずれが高得点の方で合否判定するケースもあります。これらの方式のメリットは、国公立大との併願がしやすく、センター試験だけで複数の私立大を受験できること。ただし、使い勝手がよく効率的となると当然人気も高く、難易度、倍率が高くなるので、しっかり戦略を立てて出願したい。

全学部日程入試 なら受験機会が増える

この入試では、全部の学部・学科が共通の問題で、同じ日に一斉に試験を行います。学部ごとの試験とは別の日に行われるので、同じ学部・学科を2度受験することが可能になるほか、併願校との日程重複を回避しやすくなるメリットがあります。

併願する時に便利な 試験日自由選択制

同一の学部・学科で複数の試験日が認定され、受験生がその中から自分に都合の良い試験日を自由に選んで受験できる制度のこと。併願校の試験日の重なりを避けることができるので、併願の可能性が広がります。

得意科目重視型入試 で一転突破を狙う

事前に申請した得意科目の配点に一定の倍率が掛かって評価される方式。また、2教科のところを3教科受け、そのうち得点の高い2教科で合否を判定するというケースもあります。いずれにしても自分の得意科目が生かせる便利な制度といえます。

地元で遠隔地の大学を受けられる 学外試験会場

大学のキャンパス以外の場所に設置される試験会場を「学外試験会場」と呼びます。これを利用すれば遠くに行かなくても、地元近隣で受験ができます。移動に関わる体力的・経済的負担が軽減され、地元で受けることで精神的にもリラックスできます。学外試験会場の場合、大学本部で実施する試験日とは異なる日程で行われることもあり、併願が可能で合格チャンスが広がります。

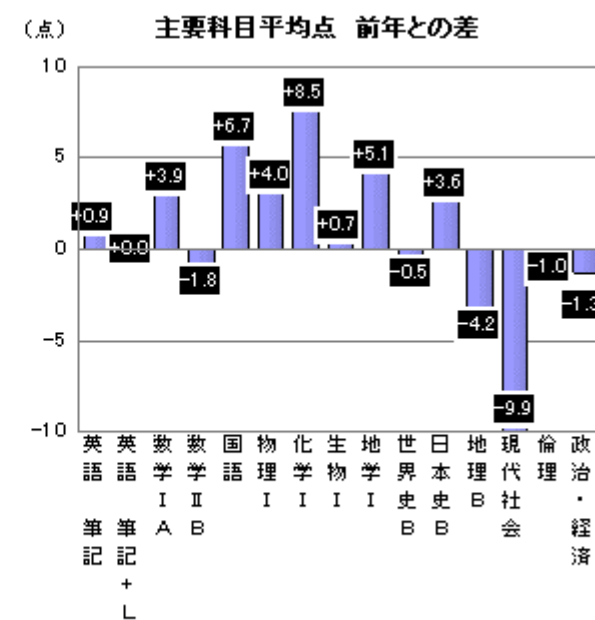
2012年 センター試験の概況

2012年のセンター試験の志願者数は昨年から3,447人減少して555,537人となりました。現役生志願者数は前年から2,708人減少していて、現役生のセンター志願率（センター試験志願者数 / 新規高卒者数）は41.5%となり、過去最高であった前年の41.6%から0.1%下降しました。

今年のセンター試験は、ニュースでもあるように、地歴公民の問題の配布ミスや数学の問題訂正の板書を忘れたり、例年になく運営上のトラブルが多発し、受験生にとっては不公平感の残る後味の悪い試験となりました。来年度以降はこのようなことで、受験生を混乱させることがないようにしてほしいですね。

2012年センター試験の平均点(中間報告)

科目	昨年	今年	差
英語(筆)	126.0	126.9	+0.9
英語(筆+L)	121.8	121.8	+0.0
数学ⅠA	67.6	71.5	+3.9
数学ⅡB	54.0	52.2	-1.8
国語	113.6	120.3	+6.7
物理Ⅰ	65.6	69.6	+4.0
化学Ⅰ	58.1	66.6	+8.5
生物Ⅰ	64.4	65.1	+0.7
地学Ⅰ	66.4	71.5	+5.1
世界史B	62.8	62.3	-0.5
日本史B	65.3	68.9	+3.6
地理B	66.9	62.7	-4.2
倫理政治・経済	-	68.2	-
現代社会	62.4	52.5	-9.9
倫理	71.1	70.1	-1.0
政治・経済	60.2	58.9	-1.3



※「英語(筆+L)」は素点250点を200点に換算したもの

2013年のセンター試験の予定 (時間割は今年のものなので、変更になるかもしれません)

1月19日(土)

地歴公民 2科目選択 9:30~11:40
1科目選択 10:40~11:40
~休憩(昼食)~
国語 13:00~14:20
英語 筆記 15:10~16:30
リスニング 17:10~18:10 (実施30分)

1月20日(日)

理科 2科目選択 9:30~11:40
1科目選択 10:40~11:40
~休憩(昼食)~
数学 A 13:00~14:00
数学 B 14:50~15:50

お知らせ 其の1 ~学年末テスト対策について~

一年の締めくくりの学年末テストが近づいてきました。テスト後にいつも思うことですが、もう少し早くから勉強しておけばよかったとよく聞きます。DSKでは、テスト対策として個別指導2WAYを用意しています。個別指導2WAYは2コマで1度数と大変お得になっていますので、別紙の案内を参考の上、是非ご利用ください。皆さんの勉強のプラスになるように、全力で応援します！

お知らせ 其の2 ~模試などの成績結果について~

模試や学校のテストの結果が戻ってきたら、必ず受付へ提出してください。今後の学習指導の参考となる大事な資料なので、宜しくお願いします。

